

新型コロナウイルス感染症（京都市内における先週（9/5～9/11）の状況）

◆概況

緊急事態宣言発令中！（～9月30日）

～一人一人が命を守る行動を！～

先週（9/5～9/11）の新規感染者数は、先々週から620人減（約30.1%減）の1,437人となりました。感染者は減少傾向にありますが、**依然1日平均で約200人**となっており、第4波のピークを超える状況で予断を許しません。引き続き、お一人お一人の命を守る行動が重要です。

直近（9月11日）の京都府全体の確保病床使用率は57.7%、重症病床使用率は55.3%、宿泊療養施設は400人となっています。

厚労省のアドバイザーボード（9月8日）において、重症病床使用率が高止まりしていること、夜間滞留人口の減少が見られず注視が必要とされており、こうした状況を踏まえ、緊急事態宣言が9月30日まで延長されました。

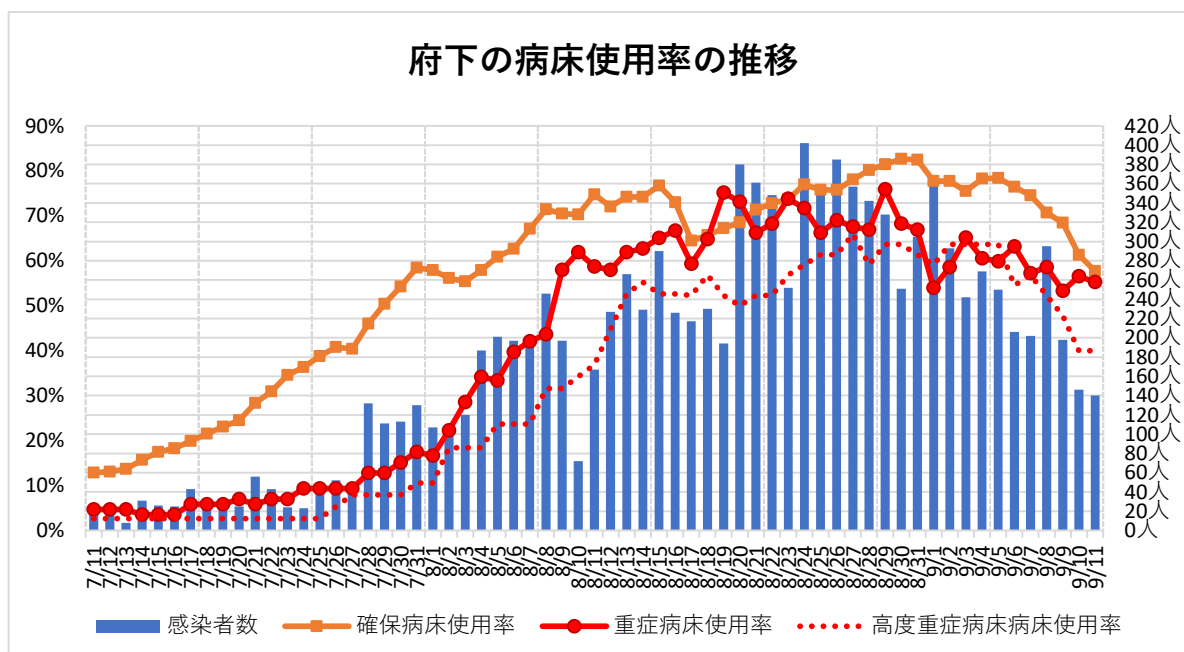
◆病床の状況

府内の状況	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日
確保病床使用率	78.4% (505床/644床)	76.4% (492床/644床)	74.5% (480床/644床)	70.7% (455床/644床)	68.5% (441床/644床)	61.2% (452床/738床)	57.7% (426床/738床)
重症者病床使用率	59.9% (91床/152床)	63.2% (96床/152床)	57.2% (87床/152床)	58.6% (89床/152床)	53.3% (81床/152床)	56.5% (91床/161床)	55.3% (89床/161床)
高度重症病床使用率	63.6% (28床/44床)	54.5% (24床/44床)	56.8% (25床/44床)	52.3% (23床/44床)	47.7% (21床/44床)	40.0% (20床/50床)	40.0% (20床/50床)

※ 高度重症病床の重症者数：高度重症病床において、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な方

重症病床の重症者数：高度重症病床の重症者の方に加え、人工呼吸器管理等は必要ではないが、重症病床で療養している方（重症病床入院後、人工呼吸器管理が必要となり、引き続き重症病床で療養されている方を含む）

・先週の新規感染者（1,437人）のうち、検体採取時に「無症状」の方は296人です。



◆在宅療養の状況

新規感染者が減少してきたことに伴い、一時、最大で3,000人を超えていた、本市域内で療養されており、保健所において健康観察を行っている実際の在宅療養者は1,165人（9月11日時点）まで減少していますが、まだまだ予断を許さない厳しい状況です。

在宅療養者の健康観察等を徹底するため、本市では職員体制を大幅に増加（170⇒324名）するとともに、より丁寧に在宅療養者のリスクを把握し、必要な医療との連携を行うことで、在宅療養者の安心・安全に繋げるため、8月31日からは山科区において、訪問看護ステーションを運営する法人に在宅療養者の健康観察業務の一部委託を行っています。さらに9月13日からは左京区及び右京区にも拡充し、在宅療養者が安心して療養いただける環

◆災害級の危機を乗り越えていくために、家庭や学校等での取組を

○家庭での取組

感染経路が判明している感染者の4人に3人が**家庭内での感染**です。

いつ感染してもおかしくないという意識を持ち、

1 「家庭内に感染を持ち込まないこと」

混雑した場所等には決して行かない！ 等

2 「家庭生活でお互いに守っていくこと」

特に食事の際はお互いの距離や声の大きさも意識して 等

3 「家庭内で感染疑いや感染者が出たとき」

入院・入所できない場合は、御家族が宿泊あっせん事業を利用して拡大防止 等

の3点を各家庭の事情に応じて、しっかりと話し合い、確認していくことが大事です。

「新型コロナウイルス感染症の家庭内感染を防ぐための緊急のお願い」
→こちらをご覧ください。



「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等への宿泊施設あっせん」
→こちらをご覧ください。

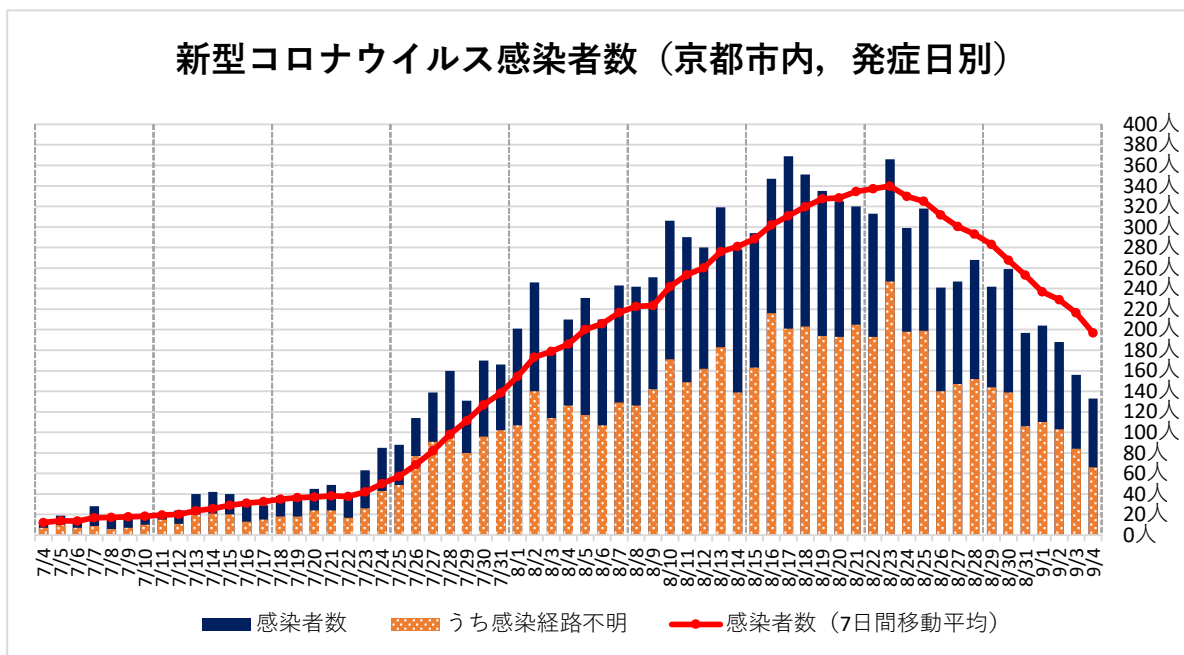
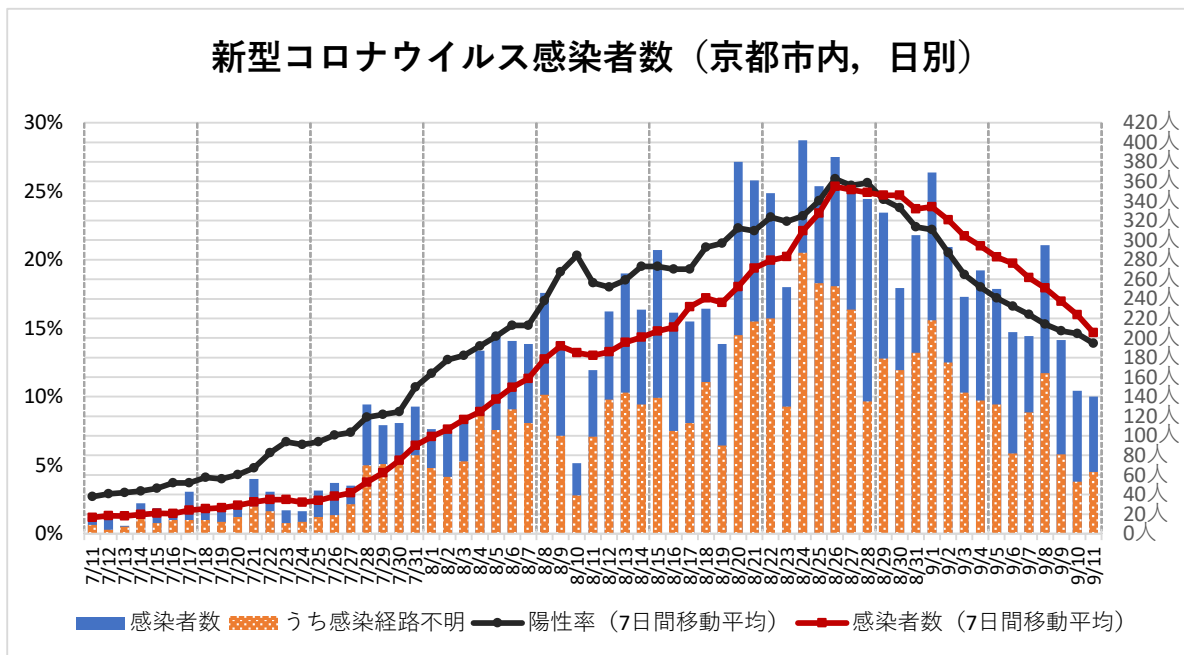


◆新規感染者数

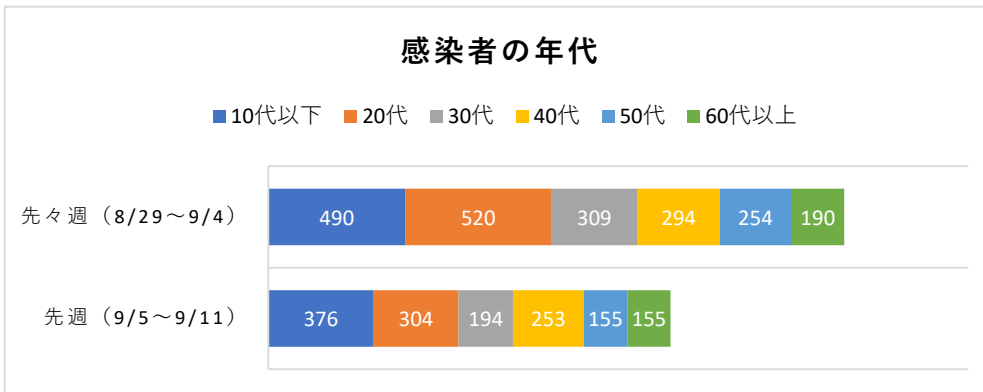
先週の新規感染者数	1,437人 前週比△620人	1日当たり平均	205.29人 前週比△88.57人
感染経路判明	738人 (51%)	10万人当たり新規感染者数/週	98.34人
感染経路不明	699人 (49%)	PCR検査陽性率 (7日間移動平均)	13.9%

※ 全国の人口10万人当たり新規感染者数 (9/3~9/9) 69.12人 (△38.5人)
 京都府の人口10万人当たり新規感染者数 (同期間) 89.70人 (△39.4人) (全国で7番目)
 (東京都: 92.38人, 大阪府: 142.48人)

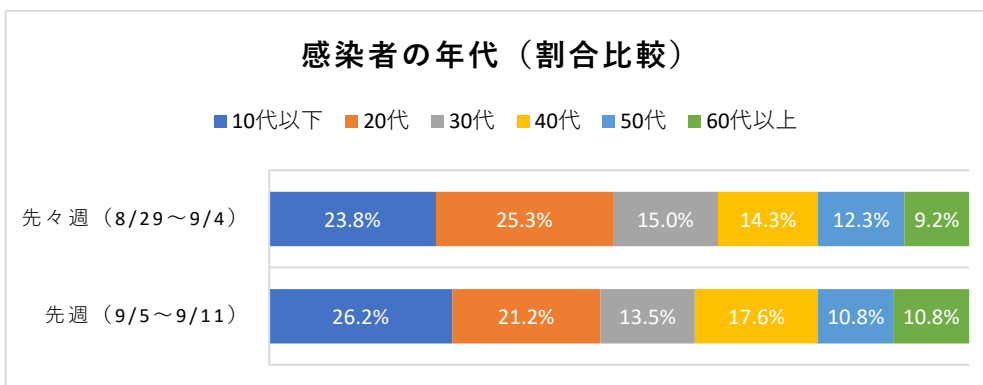
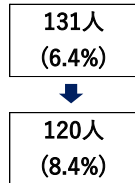
【厚生労働省公表資料】 都道府県の医療提供体制等の状況 (医療提供体制・監視体制・感染の状況) より



◆感染者の年代



<参考>
65歳以上の方



◆新型コロナワクチン接種について

京都市では、身近な診療所・病院等での接種体制や、本市設置の集団接種会場を確保し、ワクチン接種を進めています。

国からのワクチン供給が本市の接種スピードに追い付かず、医療機関や集団接種会場への供給を制限せざるを得ませんでした。一定量のワクチン確保に目途が立ち、8月から医療機関での個別接種や京都市が開設する集団接種会場での接種を再開しました。

9月3日から医療機関で接種をお待ちの40歳以上かかりつけ患者の方のワクチンを医療機関にお届けし、**重症化リスクの高い40歳以上の方の接種を促進。地域の診療所・病院での個別接種も進んでいます。**

そして、若い世代の方を含め希望される方のワクチン接種を加速するため、

○9月18日から**京都市役所本庁舎に大規模接種会場を新たに開設**（平日・土日実施。1日最大1200回）

○**みやこめっせ会場等の接種枠も拡充**（平日実施。1日最大1400回）

します。

また、これから始まる受験シーズンに安心して臨んでもらえるよう、

○**受験生等(中学3年生・高校3年生)とそのご家族への優先接種を開始。**

9月21日から予約受付を開始します。ぜひ御活用を!

希望される市民の皆様のワクチンは確保されており、接種いただける体制を構築していますので御安心ください。

御自身と御家族、大切な人の命と健康を守るため、ワクチン接種を！

ポータルサイトで集団接種の希望登録の取下げができるようになりました。

予約の重複を避けるため、医療機関等での接種の予約が決まりました方は、希望登録の取下げをお願いします。

京都市新型コロナワクチンポータルサイト「集団接種登録の取下げ」
→こちらをご覧ください。

